**新会員オリエンテーションの手引き**

新会員を教育することは、新会員が末永くロータリーに留まるようにするためにも非常に大切です。クラブが実施する新会員のための情報プログラムは、国際ロータリーとロータリー財団に関して幅広く解説し、クラブ会員の特典や責務に焦点を当てる必要があります。また、クラブの主なプロジェクトや活動についての概要も盛り込みます。

　この手引きは、新会員の入会前に開催するオリエンテーションの手引きとして作成しました。ポイントのみ記載しましたので、加除訂正し、皆さんのクラブに相応しい内容でオリエンテーションを開催してください。

**オリエンテーションの参加者**

　　オリエンテーションには、次の役職の皆さんが参加するよう推奨します。(クラブにより委員会構成が違いますので、クラブの実情に合わせて、下記を担当する委員長にしてください。)

* クラブ役員（会長、直前会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、ＳＡＡ）
* 新会員の紹介者
* クラブ研修リーダー
* クラブ研修委員会のメンバー全員
* 会員増強委員長
* その他関係する委員長(職業分類、会員選考等)
* 事務局員

　　一人の新会員を迎えるために、多くの会員が出席してオリテーションを開催します。私の所属するクラブでは、その時によって多少前後しますが、毎回10人程度が参加しています。クラブ研修リーダーが細かく説明しますが、クラブ研修委員会のメンバーがこれを補足したり、分担したりします。継続してオリエンテーションを開催できるように引継ぎの意味も含めています。

**オリエンテーションの次第の例**

1. 開会の言葉　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　幹　事
2. 出席者自己紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・　新会員を含む出席者全員
3. 会長挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　会　長
4. 新会員紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　紹介者
5. ロータリーについての説明　・・・・・・・・・・・　クラブ研修リーダー
6. 入会に関する事務手続きの説明　・・・・・・・・・　幹　事
7. 質疑応答　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　幹　事
8. 閉会のことば　・・・・・・・・・・・・・・・・・　幹　事

　時間は概ね２時間を予定しましょう。入会に関する事務手続きの説明、入会金や会費の納入、欠席の場合の連絡方法等、事務局員が実施する場合もありますが、本来幹事の役目です。

－ １ －

新会員へ

**あなたは、このようにして会員に選ばれました**

ロータリークラブ会員としての**審査の基準**は、次の通りです。

　● 地域で職業を代表する評判の良い人

　　● 必ず例会に出席できる性格と健康の持ち主、自分の時間の裁量ができ、例会以外の会合等にも出席できる人

　● 人格の立派な人で、社交性に富んでいる人

　　● 地域で指導者たり得る意欲的な職業人で、将来性のある人

**新会員が入会するまでの順序**

1. 新会員候補者を、クラブの正会員が推薦して、クラブ幹事に推薦書を提出します。
2. 推薦書は、クラブ幹事からクラブ理事会に提出されます。（移籍する会員または他クラブに属していた元クラブ会員は、元クラブによって推薦されても良い。）⇒これらの推薦は、手続が済むまでは口外しないで、理事会も非公開で開催されます。とされていますが、実務上はまず推薦者が被推薦者に入会を誘い、その後手続きに入るのが一般的ですので、推薦者や理事会構成員以外の関係者に漏らさない、というように解釈しています。
3. 推薦書を受け取った理事会は、職業分類委員会に職業分類の審査を依頼します。被推薦者がクラブの職業分類に問題がなければ、理事会は次に会員選考項委員会が会員資格の条件をすべて満たしていることを確認して理事会に報告します。 ⇒ 職業分類委員会と会員選考委員会を設置していないクラブは、クラブ管理運営委員会等、他の担当委員会で確認します。
4. 理事会は、推薦書が提出された後30日以内に入会の承認または拒否を決定します。幹事はこの決定を推薦者に通知します。
5. 理事会が入会を承認した場合は、候補者をオリエンテーションに招き、或いは出向いて、ロータリーと会員の義務について説明をします。その後会員推薦書式の新会員が署名する欄に署名して、本人の氏名と本人に予定されている職業分類を全クラブ会員に伝えることについて承認を求めます。
6. 理事会はクラブの全会員に対して入会見込者の氏名と職業分類等を知らせ、入会に異議がある場合には７日以内に理事会に対して理由を付記した書面によって異議の申し立てをするよう通知します。
7. どの会員からも理事会に異議が提出されなかった場合には、承認となり、入会金と年会費の月割額を納めることにより、クラブの正会員に選ばれたことになります。
8. 以上の手続きの後、クラブ会長は、新会員の入会式を行い、新会員に対して会員証を発行し、ロータリーに関する資料を提供します。
9. 会長または幹事は、新会員に関する情報をＲＩに報告し、会長が、新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を１名指名し、幹事が新会員の委員会配属を発表します。

　上記のように、新会員候補者の資格審査と、その後の入会手続きの順序を経て、あなたは新会員として認められました。当クラブ会員として入会され、おめでとうございます。クラブ会員としてご活躍してください。 ⇒ 上記は推奨されている方法です。クラブ細則で定めますので、上記の順番を変えたりすることは、クラブの裁量に任されています。

－ ２ －

**新会員のためのオリエンテーション**

　オリエンテーションでは、様々な事を説明しますが、全てを理解することはきっと困難です。分からないことがありましたら、遠慮なく質問してください。クラブに入会後にも、先輩会員に質問してください。みなさんの質問に的確に答えらない場合もあるかも知れませんが、そのような場合には、後日答えてもらえます。とにかく、お気軽にどうぞ。

1. **ロータリークラブに入会することのメリットについて**

　●　人前で話すことに習熟します。多くの人の前で話しをすることができるようになります。

入会後しばらくすると、例会の後半にスピーチ（卓話）をする機会があります。卓話の依頼があった時には、クラブの皆さんにご自身のご紹介をしたり、クラブの皆さんにご自分をＰＲしたり、ロータリークラブに入会して感じたこと等を話しましょう。

　●　ロータリーは異業種の人達の集まりです。毎週の例会では、様々な職業の会員や外部講師による卓話を聞き、あなたの職業以外の知識や様々な情報を得ることができます。様々な職業の人と交流することと、こうした会員と親睦を深めることであなた自身を切磋琢磨し、幅広い人になれると共に、地域で多くの友人が出来ます。

　●　地域社会に奉仕することにより、地域社会から認められます。奉仕活動は、あなたが出来る範囲で結構ですから実施してください。

　●　当クラブは、木更津中央高校インターアクトクラブを支援しています。

　●　海外から日本に留学してきた学生に奨学金を援助しています。本年度当クラブは世話クラブとして、　　　　　から留学した　　　　　　　　氏のお世話をしています。

　● クラブの会員は、入会と同時に日本は勿論、世界中のどこのクラブの例会にも出席する権利があります。近隣のクラブの例会には、是非出席されることをお薦めします。

**２. 会員としての義務について**

　●　**会費の納入**　年会費は　　万円です。年会費は前期(毎年７月中)と後期(１月中)に分けて、半額ずつ納入して頂きます。年度によっては、特別会費を納入こともあります。

　●　**例会への出席**　例会は毎週　　曜日、12時30分～13時30分に開催されます。当クラブは12時00分から食事の用意をしてありますので、ＳＡＡの指示により召し上がってください。12時00分に例会場に来られない場合でも、遠慮することなく到着次第食事をしてください。例会が始まってからでも結構です。

　●　**例会を欠席した場合**　例会を欠席した場合には、その例会の前後２週間の間に他のクラブの例会に出席するなどして、欠席した例会を補填してください。これをメークアップといいます。最初にメークアップする場合には、勝手が分からないと思いますから、援助会員と相談してください。一緒にメークアップに行ってくれると思います。

　●　**ロータリーの雑誌の購読**　毎月ロータリーの友という雑誌が配布されます。この雑誌の購読料は年会費に含まれています。この雑誌を必ず読んでください。この雑誌は横組みと縦組みのページがあります。横組みのページには、ロータリーに関する様々な情報が掲載されています。縦組みのページには、日本国内のロータリーに関すること等が掲載されています。最初のうちは難しいと感じるかも知れませんが、毎月読んでいる内に慣れてきます。

　●　**定款・細則の順守**　ロータリーの目的の受託と定款・細則を順守してください。当クラブの定款・細則は、クラブ活動計画書に印刷されていますから、ご覧ください。

－ ３ －

**３. 国際ロータリーの歴史について**

　●　ロータリーは、1905年２月23日に、当時青年弁護士であったポール・ハリスという人が、他の３人の友人とアメリカのシカゴで会合を開いたことから歴史が始まりました。

　●　最初の会合から３年後に、サンフランシスコに第２号のロータリークラブが誕生しました。その後アメリカの各地にクラブが結成されました。

　●　現在、世界の200以上の国と地域に、34,000以上のクラブ、126万人以上の会員を擁する、巨大組織になっています。

　●　組織が大きくなるに従って、ロータリーという統一された組織にするために、定款や細則を定めて、全世界のクラブが同じ定款を採用しています。

**４. 国際ロータリーの組織について**

　●　ロータリーは、それぞれのクラブが主役ですが、全世界のクラブのネットワークとして国際ロータリー(以下「ＲＩ」といいます)というものがあります。

　●　ＲＩの目的は、次の３点です。① ロータリーの使命を実行するクラブと地区を支援すること。② 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大すること。③ＲＩの活動を調整し、全般的にこれを指導すること。

　●　各クラブはＲＩの構成員です。各クラブの会員は所属するクラブの構成員であって、ＲＩの会員ではありません。

　●　ＲＩには、ＲＩ会長、ＲＩ理事、ガバナー等の役員がいます。

　●　ＲＩには、全世界に約535の地区と言うものがあります。千葉県の地区は第2790地区です。地区にはガバナーという役職があり、ガバナーは、ＲＩ理事会に代わって地区内クラブに対する指導と監督を行います。

**５. 地区の組織について**

　●　世界を約535の地区に区分しています。

　●　千葉県の所属する地区は、第2790地区です。

　●　第2790地区は、84のクラブが所属していて、会員数は2,700人程です。

　●　第2790地区は、14の分区に区分しています。木更津東クラブは第４分区に属しています。

　●　地区のガバナーは地区内のクラブ会員から、毎年交代で選ばれます。

　●　各分区にガバナー補佐が毎年選ばれ、地区には様々な委員会があります。それぞれの委員会には、委員長、委員共に地区内の各クラブ会員の中から選ばれています。

**６. クラブの組織について**

　●　ロータリー年度は、毎年７月１日～翌年６月30日の１年間です。

　●　クラブの会長以下の役員、理事、委員会委員長は、毎年交代します。

　●　クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計ですが、当クラブはこの他に副会長、会場監督(ＳＡＡと言います)を役員に含めています。

　●　当クラブの理事は、４名で、役員と理事で理事会を構成しています。

　●　年次総会は、毎年12月第１例会に開催します。総会は役員を選挙するのみで、その他の決定は、全て毎月開催される理事会で決定します。

－ ４ －

1. **ロータリーの使命について**

クラブやクラブの会員の使命については、別に明文化されていませんが、ロータリーの目的を遂行することにあります。ロータリーの目的は、次の通りです。

**ロータリーの目的**

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会

に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

　　　この目的の本文にある通り、「奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」が目的であり、第１から第４までは、これを具体的に表したものです。

**国際ロータリーの使命**

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人

　びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである。

**ロータリー財団の使命**

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることである。

上記の通り、ＲＩ理事会と（ロータリー財団の）管理委員会は、教育の推進、きれいな水の提供、平和の構築、母子の健康の支援、地元経済の支援、疾病の予防のための補助金を通じて、ロータリー財団の使命を果たすことに多大な力を注いでいます。

1. **五大奉仕部門について**

　ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの哲学的および実際的な基準です。

* 1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
	2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
	3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

－ ５ －

* 1. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

⑤　奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

1. **ロータリー財団について**

　　国際ロータリーのロータリー財団と言うのが正式な名称です。ロータリーが誕生してから12年後の1917年に基金として発足し、1928年に国際大会でロータリー財団となりました。ですから、今から２年後の2017年には、ロータリー財団創立100周年と言う大きな節目の年度を迎えます。

ロータリー財団は、全世界のロータリアン(ロータリアン以外からも)の寄付によって寄せられた資金を、クラブや地区のプロジェクトに使っています。この資金を使う場合には、ロータリー財団の使命に沿った活動で、かつロータリアンが積極的に関与する活動でなければなません。各クラブは、社会奉仕活動や国際奉仕活動を立案して、その資金の一部をロータリー財団の補助金によって賄うことができます。

**ロータリー財団への寄付金について**

ロータリー財団への寄付には３種類あります。

1. **年次基金寄付**　皆さんから毎年寄付して頂くものです。第2790地区では一人当たり

130ドルを目標にして頂いています。この寄付は３年間財団で運用して、３年後全額がシェアシステムに組み入れられます。運用益は、財団の管理費に使います。

1. **恒久基金寄付**この寄付の元金は使いません。恒久的に運用します。毎年その運用

益をシェアシステムに組み入れます。

1. **使途指定寄付**　使途を指定して寄付します。この寄付はシェフシステムには組入れ

ません。

**シェアシステムについて**３年前の年次基金寄付の元金と恒久基金の運用益は、シェアシステムに組み入れます。この合計額の50％ずつを地区財団活動資金(ＤＤＦ)と国際財団活動資金(ＷＦ)に分けます。ＤＤＦは各地区が使途を決めます。使途には地区補助金とグローバル補助金があります。この他にポリオプラスや平和センターへの寄贈にも使えます。グローバル補助金に配分した金額には、ＷＦから同額の資金が上乗せされます。

**ポリオプラスについて**　ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定が達成されるまでは、他のすべてのプログラムに対して優先されるものです。従って、各クラブはこれに優先的に取り組みます。

　　1988年に世界保健総会でポリオを世界的に撲滅するという目標が再委託されたのはロータリーが大きなきっかけとなりました。現在ポリオの常在国は４ヵ国のみになりました。

－ ６ －

**10.ロータリー米山記念奨学会について**

　　「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解されるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に受け入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。」こうしてロータリー米山記念奨学会が設立されました。

　　日本のロータリーの創設者である米山梅吉の功績を讃えて、東京ロータリークラブが始めましたが、その後日本国内の全ロータリークラブがこれに参加しています。

　　公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し支援する国際奨学事業をおこなっています。事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。

米山記念奨学会には、他の奨学金にはない世話クラブとカウンセラー制度があります。奨学生は毎月例会に出席して、奨学金を受け取ります。必ず例会場で手渡しすることになっています。このことは、クラブの例会に出席することにより、カウンセラーだけでなく会員との触れあうことによって、ロータリーを理解して貰うという狙いがあります。

年間の奨学生採用数は約700人、事業費は12億円超と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では、国内最大規模になっています。

**11.当クラブのプロジェクト**

　　各クラブは、それぞれ独自のプロジェクトを実施していたます。過去５年間に当クラブで実施したプロジェクトの内、主なものは次のようなものがあります。

●　ボーイスカウト、ガールスカウト、インターアクトクラブ及びロータリークラブの４団体(ＢＩＧ＆Ｒの会)で、毎年７月の最終例会を早朝例会に変更して、大田山公園の清掃作業をしています。

●　ＢＩＧ＆Ｒの会と共同で、矢那川ダム公園にある鎌足桜の銘々版を設置しました。

●　2011年の東日本大震災で津波の被害を受けた千葉県旭市の飯岡地区で、毎年避難路の整備作業をしています。この奉仕活動には、ＢＩＧ＆Ｒの会の皆さんにも参加を呼び掛けて実施しています。

●　2014－15年度に、ロータリー財団の補助金を申請して、ネパールのポカラ地区で山羊銀行プロジェクトを実施しました。事業費は日本円で約625万円です。

●　香川県の坂出東ロータリークラブと姉妹クラブとなっていて、両クラブの周年事業には、お互いに交流しています。ガバナーを輩出した年度には、坂出東クラブから多数の会員に来訪して貰いました。2016－17年度には、坂出東クラブからガバナーが輩出されますので、クラブ会員多数で地区大会に伺う予定です。

●　ゴルフ愛好会という同好会があり、毎年会長が優勝杯を寄贈し、年６回争奪戦を開催しています。毎回はレプリカを贈呈し年度の最終回には優勝杯を授与しています。あなたもゴルフをなさるようでしたら、是非同好会に入会して会員間の親睦を深めてください。

●　その他、納涼例会、忘年家族クリスマス会、日本酒利き酒会等を毎年実施しています。奥様方も参加され、家族同士の付き合いになっています。

－ ７ －

**12. 最後にお願いです**

あなたは入会手続きが済み、間もなく正会員とし迎えられます。会員として、最低次の点をお願いします。

　●　毎週の例会には、必ず出席してください。

　●　都合で例会を欠席された場合には、前後２週間の間にメークアップして、欠席を補填してください。

　●　例会に休むと、例会への出席がおっくうになります。しかし、クラブの会員全員があなたの出席をお待ちしています。遠慮したたりせずに、例会に出席してください。

　●　地区や分区で、様々なクラブ例会以外の会合が開催されます。これらの会合にも積極的に参加してください。

　●　入会後には、委員会に配属になります。委員会配属は毎年度変わります。様々な委員会活動を体験し、何年か後には委員長に指名されますから、頑張ってください。

　●　委員会配属や委員長への就任要請等が有った場合には、喜んで引き受けてください。これが、あなたがロータリーに馴染むための大きな機会だと思ってください。

　●　本日説明した事は、ロータリーに関する簡単な説明です。ロータリーは知れば知るほど素晴らしい団体だという事がお分かりになると思います。今後は、ロータリーの友誌を読んだり、手続要覧という書物を読んだり、更にインターネットでロータリーに関するものを読んだりして、大いに勉強してください。

　●　手続要覧は、事務局に注文すれば購入してくれます。代金は８ドル(米ドル)です。

　●　疑問に思ったことは、遠慮なくクラブの会員に聞いてください。

**あなたが、素晴らしいロータリアンになりますよう、会員一同期待しています。**

**新会員に配布する資料等は、次を参考にしてください。**

○　クラブ活動計画書(クラブ定款・細則、役員・理事名簿、委員会構成表等)

○　新会員のためのオリエンテーション　クラブの手引き　414-JA－(108)

○　ロータリーのいろは(363-JA)

○　ロータリーの基本知識(595-JA)

○　手続要覧(035-JA) (以上４種は、ＲＩ日本事務局から入手可能です。

ウェブサイトからダウンロードもできます。)

○　その他多くの資料があります

　　　

－ ８ －